

# 八王子織物の魅力を若者に伝える土産のデザインおよびパッケージ

Souvenir Design and Packaging to Share the Charm of Hachioji Textiles with Young People.

楠本 麻衣実  
指導教員 李 盛姫

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

八王子織物の魅力を若者世代により広く発信するため、現代の流行を取り入れた浴衣とショルダーバッグのデザイン、パッケージングなど商品ブランディングを行う。

キーワード：八王子織物，祭り，お土産，パッケージ

## 1. 研究目的

一昨年度より行われている本研究室共同研究テーマである八王子みやげ研究に取り組む。本年度は八王子で開催される様々な「祭り」を題材に、浴衣とショルダーバッグの形や柄、商品と一体感のあるパッケージの提案を行う。現代の生活に取り入れやすい商品、デザインを提案することにより、生活様式の変化によって需要が減退した八王子織物を後押しし、伝統産業の魅力を広く発信することを目的とする。

## 2. 調査内容

### 2-1. 八王子で開催される祭りについて

八王子市では八王子まつりをはじめとして、八王子いちよう祭りや、高尾山若葉まつり・もみじまつりなど大小さまざまな祭祀が季節を問わず行われている。また、高尾山薬王院が主催する高尾山火渡り祭や高尾山迎光祭など、祈願や厄払いのためにも祭りが行われる。

### 2-2. ファッション市場調査

現在、コロナ明けのお祭りの開催によって浴衣の需要が増加している。中でも若者は着付けの手間を省くため、上衣とワンピースに別れた2wayの浴衣を選び着用する傾向がある。鞆は近年キャッシュレス化の影響により徐々に小さくなっており、スマートフォン程度のサイズのショルダーバッグも流行している。

### 2-3. 八王子織物の現状

大正時代まで八王子は男物の着物地の産地であり、男性の服装が洋服に変わった後も女物の着物地やネクタイの生産により産業を発展させてきた。現在は生活様式の変化に対応し、ネクタイやマフラー、ストール等が生産されている。八王子織物は1970年に売上高ピークを迎え、1990年以降衰退の

一途を辿っている。

## 3. コンセプトおよびアイデア展開

八王子織物の着物地の生産技術を活かすことができ、「Matsuri」というグループ共通テーマとの関連も深いアイテムであることから商品には浴衣を選んだ。現代の流行を意識し、着付けが容易で洋服としても着用できる2部式浴衣として提案を行う。加えて浴衣との親和性が高く、現在の流行でもあるスマホサイズのショルダーバッグを提案する。

ブランド名を「四季祭絵巻 Made in Hachioji」とし、四季にそれぞれ行われる八王子の祭りをモチーフに日本ならではの美意識、余白の美しさを活かしたデザインを行い、現代の流行も取り入れた配色で4つの柄を提案する。

## 4. 制作物

### 4-1. 織物のデザイン柄

八王子市で行われる祭りの中から、4つ(高尾山若葉まつり、八王子花火大会、八王子いちよう祭り、高尾山迎光祭)を選択し、デザイン柄を提案した。各祭りの特徴を意識し、日本画のような余白を活かしたデザインを制作した(図1)。



図1 布地の提案柄(4柄)

## 4-2. ロゴタイプ

パッケージデザインを提案するにあたり、ブランディングを行った。ブランド名“四季祭 (SHIKISAI) 絵巻 Made in Hachioji”の「SHIKISAI」には「四季の祭り」と「織祭(織る祭り)」、「色彩」といった複数の意味を持たせている。ロゴタイプには、モチーフとした各祭りから象徴的なモチーフを1つずつ選び、デザインに組み込んだ。4つのオブジェクトをつなげてデザインすることで糸を紡いでいるイメージと絵巻のように絵がつながって描かれている様子を表現した(図2)。



図2 ロゴタイプデザイン (案)

## 4-3 パッケージデザイン

浴衣とショルダーバッグのパッケージを各2種類デザインした。浴衣のパッケージAは、浴衣を管理する手間を省く機能を持たせるため、一般的に浴衣を保管する際に用いるたとう紙で包んだパッケージとした(図3左)。浴衣のデザインBは、絵巻というブランドコンセプトを反映させ、巻き帯をつける形とした(図3右)。ショルダーバッグのデザインAは、開いた状態の絵巻をイメージして長方形で中心を広く切り抜いたデザインとした(図4左)。ショルダーバッグのパッケージBは、浴衣のパッケージBとの親和性を持たせるとともに絵巻というブランドコンセプトも伝わりやすい巻物型のパッケージとした(図4右)。

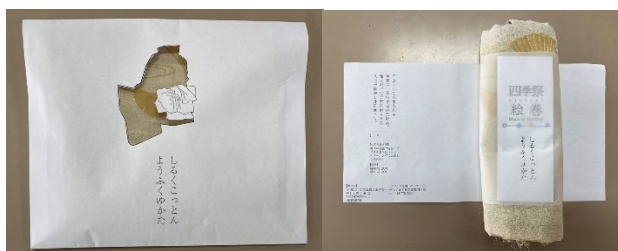


図3 浴衣のパッケージ A・B

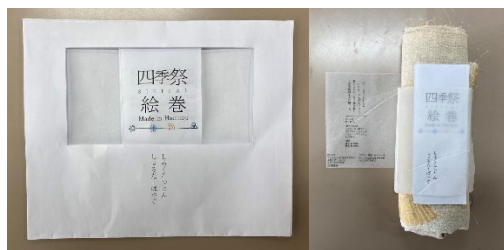


図4 ショルダーバッグのパッケージ A・B

## 4-4 ブランドブックデザイン

四季祭絵巻というブランドに親しみを持ってもらう目的で、商品に同封するブランドブックのデザインを行った。絵巻をイメージし、ページを拡げることができる蛇腹形式の四つ折りが縦長とした。また、ページを開くと織物の柄がつながって見えるように工夫した(図4)。



図4 ブランドブックデザイン (案)

## 5. 今後の展開

本校文化祭(育英祭)でのアンケート調査を踏まえて試作のパッケージデザインを検証し、11月6日～7日に開催されるジャパングリエイション2025で完成した製品、パッケージなどの展示を行う。また、11月16日～17日に行われる八王子いちよう祭りでは展示・販売を行う予定である。

## 参考文献

- [1] 八王子市公式ホームページ  
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/001/p003241.html> (閲覧日: 2024/10/08)
- [2] 八王子いちよう祭り公式ホームページ  
<https://www.ichou-festa.org/about/> (閲覧日: 2024/10/08)
- [3] 日テレ NEWS NNN  
 「約5分で「浴衣」に 一人で簡単に着られる仕組みを体験 こだわりは“普段も使える”」  
<https://news.ntv.co.jp/category/culture/a37b506777474be881a530c719a7d74c> (閲覧日: 2024/10/9)
- [4] 日本経済新聞 「浴衣販売前年比2倍、イベント活況で需要増 首都圏」  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CC1415U0U3A810C2000000/> (閲覧日: 2024/10/9)
- [5] 桑都みらい物語  
<https://soto.1920041.com/history/> (閲覧日: 2024/10/16)
- [6] 心のふるさと祈りのお山 高尾山  
<https://www.takaosan.or.jp/sp/> (閲覧日: 2024/10/08)